

2016 8/23

No.2025

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



カヤで編んだ馬首亀体の人形を海に流し、無病息災を祈る本牧神社（横浜市中区）の伝統神事「お馬流し」が7日、本牧沖の海上で行われ、6体の「お馬さま」が木造祭礼船から厄災を託し流された。



視点・点描	3
野球の横浜開催に期待大	
経 済	4
人口減前提とした地域づくり 若者奪い合う移住促進策に解なし	
政 治	6
「日本ホメ」が安倍政治支える 柔らかいナショナリズムまん延	
経 済	8
「初動」「謝罪」がポイント 企業の行く末左右する危機管理	
くらし2016	10
がん治療と出産、両立の道も	
広告珍談	12
広告はたのしい②② キセルとは！	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

事務局だより

◇9月定例講演会

2016年9月14日(水)
午後1時30分～3時
ホテルモントレ横浜3階
「ビクトリア」

講師は快眠セラピスト・睡眠環境プランナーの三橋美穂氏
演題は「脳が若返る快眠の技術～ぐっすり眠れる人は認知症にならない」

◇10月定例講演会

2016年10月20日(木)
午後1時30分～3時
ホテル横浜キャメロットジャパン5階「ジュビリーⅢ」

講師は日本大学法学部教授の岩井奉信氏
演題は「現代日本政治と政局のゆくえ」

◇会員の動き (敬称略)

名義変更 ▽日本銀行横浜支店長・岩崎淳⇒横浜支店長・播本慶子

視点 点描



野球の横浜開催に期待大

2020年東京オリンピックの追加種目に決まった野球・ソフトボールの主会場に、横浜スタジアム（横浜市中区）が内定した。今年12月の国際オリンピック委員会（IOC）理事会で承認される見込みで、地元は歓迎ムード一色。特に、国民的な人気を誇る野球の開催は地域経済への波及効果が期待されている。

大会組織委員会は当初、野球・

ソフトボールの会場として東京ドーム（東京都文京区）やQVCマリンフィールド（千葉市）も候補に挙げていた。しかし、事務やスタッフ、プレスセンターなど運営に必要なスペースを球場周辺に確保できるかどうか、警備がしやすいかなどを検討した結果、横浜が最も条件に合ったという。

野球、ソフトボールともに開催

は08年北京以来3大会ぶり。北京

五輪ではソフトボールが金メダル、野球は4位だった。両競技の復活は東京五輪の盛り上がり大きく寄与するとみられ、主会場予定地となった横浜市でも好意的な声相次いでいる。

横浜スタジアムを所有する横浜市の林文子市長は「スタジアムが大きな歓声に包まれるその日に向け、関係者と連携して準備に万全を期す」とコメント。本拠地とする横浜DeNAの池田純球団社長は「光栄であるとともに、横浜スタジアムが後世に語り継がれる文化資産価値を高めていくことを願っている」と期待した。

横浜商工会議所の上野孝会頭も「地元経済の活性化に結びつく。横浜を世界にアピールする絶好の機会として取り組んでいきたい」と前向きだ。

一方、1978年完成の横浜ス

タジアムは収容人数3万人。東京ドームなどに比べると小さく、老朽化も進んでいる。横浜DeNAの子会社である球場の運営会社は将来の収容人数増を含めた「ボールパーク構想」を持っている。東京五輪に向けても収容増を含めた改修がポイントになるが、その場合は改修費の工面や法令関係のクリアが必要になるだろう。

横浜スタジアムから道路を挟んで建つ横浜市庁舎は20年6月をめぐりに桜木町駅近くへ移転することが決まっている。庁舎移転後は区内地区の空洞化が懸念されており、市庁舎跡地を含めた関内地区の再開発が課題になる。横浜のビジネス街として発展してきた関内地区の行方には、横浜スタジアムの将来像が影響を与えそうだ。

（神奈川県新聞社運動部長

佐藤 浩幸）

キセルとは！

義父は宇都宮高等農林学校をでて、専売公社に勤めていた。タバコを研究する技官である。もちろん専門職だから、タバコを吸っていた。それもキセルで吸っていた。

キセルという語句がある。鉄道に乗るとき、乗る駅と降りる駅近くのキップだけ持っていて、途中の乗車区間は運賃を支払わないという不正行為。つまり両端だけに運賃、すなわちお金がついていて、その間はお金ではないこと。

もともとキセルは、刻みタバコを吸うための道具。先端にタバコをつめる「火皿」があり、「吸い口」とともに金属製。つまりお金、そのあいだは竹。もうお分かりでしょう。

むかし、羅宇屋らおやという屋台が、町々をめぐるついていた。ピーと汽

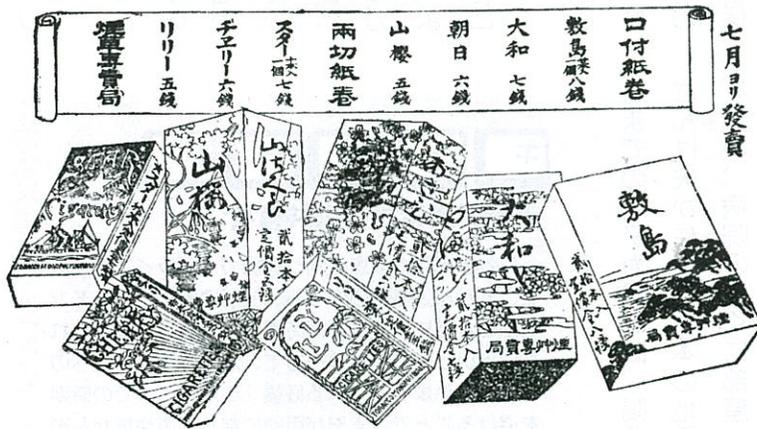
笛のような音がして、子どもたちはついて歩いた。お母さんが、お父さんが使っているキセルを持ってきて、おじさんに渡す。おじさんは、キセルの竹を取りかえた。羅宇替らおかえという。

羅宇とは、タイ国の北部にあるラオスから渡米した、キセルの竹のこと。黒い斑点のある竹管で、ラオという。かつてラオスは羅浮と書いて、「羅浮タケ」が羅宇タケになり、いつしか羅宇になったという。

キセルの語源はカンボジア語のクシエル *khseir* (管) とも、スペイン語のケシエロ *cacharrero* (陶製パイプの土) がなまって、幾世留・希施斐と

書いたという。またタバコはポルトガル語で、*tabaco*。日本には16世紀、長崎に渡米したという。

タバコは、いま「日本たばこ産業」という会社が販売している。かつてはちがった。専売公社という、お役所が売っていた。



専売公社とは、明治政府がつくったお役所。1898年、葉タバコが最初の専売品。なぜか、タバコと塩とアルコール。きつと収益が上がるからだろう。お前たち、タバコは民間ではつくることも、売ることすらぬと。もちろん民間業者は猛反対、だけど政府は押さえつけて専売局ができた。

図をどうぞ。

1904 (明治37) 年、「煙草専売局」が発足。タバコ専売の施行当日、7月1日の掲載。タバコを長年つくってきた、全国の農家のうらみがもった広告である。

右から「敷島」「大和」「朝日」「山桜」とならば(手前に「LILLY」「CHERRY」「STAR」)。

専売局の職員、中島正四郎が本居宣長が詠んだ、「敷島の大和心をひと問はば朝日に匂ふ山桜花」から着想したという。

(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)